

題 材 名	野菜作りに挑戦しよう											
内容・項目	C 生物育成に関する技術 (1)ア 生物の育成に適する条件と生物の育成環境を管理する方法を知ること。 (2)ア 目的とする生物の育成計画を立て、生物の栽培または飼育ができること。											
指導時間	10時間											
題材のねらい (題材の特徴)	身近な野菜栽培を通して収穫の喜びを味わせ、身近な生物に対する愛着と情操を高める。											
学習の流れ (展開の工夫)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指導項目</th> <th>主な指導内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 ガイダンス ・ 生物育成で何を学ぶのか</td> <td rowspan="7"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生物育成に不可欠な育成環境を知り、それらを管理する方法を知らせる。 ・ 栽培方法の種類にふれ、土による栽培について指導をする。土壌的要素については、土づくりの作業を通して体験的に理解させる。(育成に必要な3栄養素の理解と施肥を含む) ・ 有機肥料と化成肥料について ・ 課題栽培作物については、比較的管理が容易で、栽培成功率の高い、ナス、ピーマン、ミニトマトを栽培グループの全てで取り組ませる。 ・ 自由栽培作物については、失敗も前提にしたものとしてとらえさせ、失敗の原因をふり返る材料とする。 ・ 栽培管理として、間引きと雑草の処理が重要であることに気づかせる。 ・ 定期的な管理は授業のみで行うことは困難なので、休み時間等を利用した冠水や収穫など、栽培グループでの活動が機能するよう配慮する。 </td> </tr> <tr> <td>2 生物の育成環境を管理する方法について ・ 土について ・ 肥料について ・ 育成環境について</td> </tr> <tr> <td>3 栽培計画 ・ 課題栽培作物 ・ 自由栽培作物</td> </tr> <tr> <td>4 畑の管理 ・ 土づくり</td> </tr> <tr> <td>5 定植・播種と定期管理 ・ 定植の方法 ・ 播種と発芽 ・ 草取りと間引き</td> </tr> <tr> <td>6 収穫 ・ 収穫 ・ 畑の後始末</td> </tr> <tr> <td>7 まとめ</td> </tr> </tbody> </table>	指導項目	主な指導内容	1 ガイダンス ・ 生物育成で何を学ぶのか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生物育成に不可欠な育成環境を知り、それらを管理する方法を知らせる。 ・ 栽培方法の種類にふれ、土による栽培について指導をする。土壌的要素については、土づくりの作業を通して体験的に理解させる。(育成に必要な3栄養素の理解と施肥を含む) ・ 有機肥料と化成肥料について ・ 課題栽培作物については、比較的管理が容易で、栽培成功率の高い、ナス、ピーマン、ミニトマトを栽培グループの全てで取り組ませる。 ・ 自由栽培作物については、失敗も前提にしたものとしてとらえさせ、失敗の原因をふり返る材料とする。 ・ 栽培管理として、間引きと雑草の処理が重要であることに気づかせる。 ・ 定期的な管理は授業のみで行うことは困難なので、休み時間等を利用した冠水や収穫など、栽培グループでの活動が機能するよう配慮する。 	2 生物の育成環境を管理する方法について ・ 土について ・ 肥料について ・ 育成環境について	3 栽培計画 ・ 課題栽培作物 ・ 自由栽培作物	4 畑の管理 ・ 土づくり	5 定植・播種と定期管理 ・ 定植の方法 ・ 播種と発芽 ・ 草取りと間引き	6 収穫 ・ 収穫 ・ 畑の後始末	7 まとめ	
指導項目	主な指導内容											
1 ガイダンス ・ 生物育成で何を学ぶのか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生物育成に不可欠な育成環境を知り、それらを管理する方法を知らせる。 ・ 栽培方法の種類にふれ、土による栽培について指導をする。土壌的要素については、土づくりの作業を通して体験的に理解させる。(育成に必要な3栄養素の理解と施肥を含む) ・ 有機肥料と化成肥料について ・ 課題栽培作物については、比較的管理が容易で、栽培成功率の高い、ナス、ピーマン、ミニトマトを栽培グループの全てで取り組ませる。 ・ 自由栽培作物については、失敗も前提にしたものとしてとらえさせ、失敗の原因をふり返る材料とする。 ・ 栽培管理として、間引きと雑草の処理が重要であることに気づかせる。 ・ 定期的な管理は授業のみで行うことは困難なので、休み時間等を利用した冠水や収穫など、栽培グループでの活動が機能するよう配慮する。 											
2 生物の育成環境を管理する方法について ・ 土について ・ 肥料について ・ 育成環境について												
3 栽培計画 ・ 課題栽培作物 ・ 自由栽培作物												
4 畑の管理 ・ 土づくり												
5 定植・播種と定期管理 ・ 定植の方法 ・ 播種と発芽 ・ 草取りと間引き												
6 収穫 ・ 収穫 ・ 畑の後始末												
7 まとめ												
準備・材料等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鍬，レーキ，ミニテラー，リヤカー等の管理用具および肥料 ・ 野菜苗，種など 											